

27年11月分 プレカットの荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成27年 11月1日～ 27年11月10日

2. 調査実施方法

全国のプレカット工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
11月分の回答企業数は7社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) プレカット加工用部材の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27/11月	12月	28/1月
仕入 動向	国産材製材品	△ 7.1	0.0	△ 21.4
	外材製材品	7.1	△ 21.4	△ 14.3
	構造用集成材	16.7	0.0	△ 16.7
消費 動向	国産材製材品	14.3	0.0	△ 21.4
	外材製材品	28.6	7.1	△ 14.3
	構造用集成材	16.7	0.0	△ 16.7
在庫 動向	国産材製材品	0.0	△ 14.3	△ 21.4
	外材製材品	7.1	0.0	△ 14.3
	構造用集成材	16.7	0.0	△ 8.3

・プレカット部材の仕入は11月の国産材製材品の減少、構造用集成材の増加が、12月は横ばいないし減少、28年1月は全て減少。

・プレカット部材の消費は11月の増加が、12月は総じて横ばい、28年1月は減少。

・プレカット部材の在庫は、11月の横ばいないし増加が、12月、28年1月には横ばいないし減少。

(2) プレカット工場受注動向 Weight. D. I.

品目	27/11月	12月	28/1月
受注	14.3	7.1	△ 21.4
加工	14.3	7.1	△ 14.3
受注残	21.4	14.3	△ 14.3

・プレカット工場の受注、加工及び受注残は、11月、12月の増加が、28年1月は減少。

モニターからのコメント

(加工用部材荷動き)

・原木・製品とも上昇傾向。仕入れは不需要期目前で先細り。
・ヒノキKD12cm角、入手やや難。国内集成材メーカーに納期ずらしが発生。消費いまいち。構造材集成材のほとんどを輸入材にしており、予定生産量をクリアしていないため在庫増。

(受注動向)

・不需要期に向かい、受注、加工、受注残減少へ。
・受注良くない。来春までこのような感じか。
・受注は順調。